

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(伊王野地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
なすまち・とちぎけん(だいひょう) 那須町・栃木県(代表)	平成26年度～平成28年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
那須町農林振興課	0287-72-6913	0287-72-1009	norin@town.nasu.lg.jp
栃木県農村振興課	028-623-2334	028-623-2337	noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増加率等の算出			
	増加率等				
2 交流人口の増加	7.93 %	$\text{計画区域における交流人口の増加(\%)} = \frac{\text{計画期間内の計画区域外からの入込客数(人)(目標)} \div \text{計画期間前の計画区域外からの入込客数(人)(現状)} \times 100 - 100$ $7.93\% = 1,235,000 \div 1,144,300 \times 100 - 100$			
事業活用活性化計画目標の設定根拠 本施設の整備により、地域の農産物等の利活用を多様化し、それを都市住民に提供することで、地区内の交流人口の増加を目指す。					
【計画期間前】H23年度～25年度の入込客数(現況)		1,144,300 人	(道の駅東山道伊王野入込客数調査の実績値により算定)		
【計画期間内】H26年度～28年度の入込客数(目標)		1,235,000 人	(道の駅東山道伊王野内の既存施設及び新たに整備する食材提供施設の入込客数の推計により算定)		
◆道の駅東山道伊王野の入込客数(交流人口)の見込み					
年度	合計	既設食堂 (そば専門)	直売所	茶屋	本施設 (食材提供施設)
H23	366,761	104,497	198,019	64,245	0
H24	378,980	107,225	202,901	68,854	0
H25	398,559	114,558	210,031	73,970	0
計画期間前計	1,144,300	326,280	610,951	207,069	0
H26	385,000	110,000	205,000	70,000	0
H27	425,000	110,000	205,000	70,000	40,000
H28	425,000	110,000	205,000	70,000	40,000
計画期間内計	1,235,000	330,000	615,000	210,000	80,000
計画区域内には、地域農産物を有効活用した食材提供施設がないため、地域農産物が有する魅力を発信できない状況にある。本施設を整備することにより、地域の多様な農産物の提供を通じて、都市農村交流を促進することが可能になることから、交流人口の増加が期待できる。具体的には、以下の入込客数を見込む。					
(1)本施設(食材提供施設)の入込客数 ①道の駅内に、そばを提供する食堂と和食レストランがあり、周辺環境が道の駅東山道伊王野と類似し、かつ、利用者数及び施設の収支状況が営業努力等により優良である他の道の駅について、本施設においても同様の利用状況等を目指すこととし、当該道の駅(1ヶ所)の入込客数をもとに算出 当該道の駅でのH24年度のそば提供食堂(座席42席)の入込客数が47,021人であり、和食レストラン(座席86席)の入込客数は46,240人であった。 一方で、道の駅東山道伊王野のそば提供食堂(座席100席)の入込客数は107,225人であった。 本施設(食材提供施設)は、団体客を受け入れることを可能とするため(バス33席×2台)、座席数を66席としているものであるが、座席数あたりの年間の入込客数を計算することで、以下の入込客数を見込む。 ・他の道の駅のそば提供食堂 $47,021 \text{人} \div 42 \text{席} = 1,120 \text{人} / \text{席}$ ・他の道の駅の和食レストラン $46,240 \text{人} \div 86 \text{席} = 538 \text{人} / \text{席}$ ・道の駅東山道伊王野のそば提供食堂 $107,225 \text{人} \div 100 \text{席} = 1,072 \text{人} / \text{席}$ $1,120 : 538 = 1,072 : A \quad A = 515 \text{人}$ $515 \text{人} \times 66 \text{席} = 33,990 \text{人} \div 34,000 \text{人}$					
②道の駅東山道伊王野のそば提供食堂の逸失入込客数から算出 既設のそば提供食堂の混雑により、利用できなかった客数は、道の駅の管理者である東山道伊王野ふるさと物産センター組合の調査により、年間約10,000人と算出されている。本施設では、うち半分の5,000人を呼び込むことを目標とした。 以上より、①+②=39,000人≒40,000人 の入込客数を見込む。					
(2)既存施設での入込客数 既設のそば提供食堂、直売所、茶屋に関しては、計画期間内のH26～H28年度は概ね現状維持とした。					

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要 望額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
地域連携販売力強化施設	伊王野地区	食材提供施設の整備	木造新築1棟 273.68㎡(1F部 分)	H26	那須町	79,000	39,500	1/2	39,500	伊王野地区においては一級河川の余笹川、黒川、三蔵川の自然豊かな水源が豊富にあり、多種多様な農作物が作られている。新たに食材提供施設を整備することで、その地域の多様な農産物の提供を通じて、都市農村交流を促進するものであり、目標との関連性がある。
合 計						79,000	39,500	1/2	39,500	

Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項・・・該当なし

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			

- 【記入要領】
- ①必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
 - ②優先枠を活用する事業とは、予算の優先枠(生産製造連携事業計画優先枠及び再生可能エネルギー供給施設整備優先枠)の対象となる事業であり、具体的には、要件類別番号32又は要件類別番号33を満たすものがその対象となる。
 - ③生産製造連携事業計画優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号32に係る部分の事業内容について記載すること。
 - ④再生可能エネルギー供給施設整備優先枠に係る優先枠事業を実施しようとする場合には、全体事業計画のうち、要件類別番号33に係る部分の事業内容について記載すること。
 - ⑤事業メニューには、実施要領の別表1の事業メニュー名を記載すること。
 - ⑥地区名には、事業の実施地区名を記入すること。

